

長岡市立科学博物館

第2号 1958



日本一の魅力を満載したお正月最高番組



総天然色

紅葉

石原裕次郎・北原三枝
滝沢修・芦川いづみ

正月3日封切
8日まで

長映 TEL 408

人肌牡丹

市川雷蔵
山本富士子

梅若正二
近藤美恵子

小堀明男

新春隨一！ 最高の面白さ
茜雲の果てに恋を嵐を熱血
を求めて

天駆ける

ウツトリする山本富士子の男装！
剣の雷蔵の魅力コンビが
火花を散らす黄金時代劇
総天然色、大映スコープ



9日—14日

嵐寛寿郎
佐々木孝丸
細川俊夫
大東亜戦争と国際裁判

悲涙血涙、全篇を慟哭で貫く必見篇

長谷川一夫
香川京子
船越英二
錢形平次
捕物控
雪女の中足跡

15日—21日

京マチ子
山本富士子
叶順子
細若い川の流れ雪

石原裕次郎
北原三枝
芦川いづみ
谷崎潤一郎
雪

22日—27日

中村雁治郎
勝新太郎
三田登喜子

愛を求める、真実を求めてひたすら流れる
美しい青春の流れ、颯爽裕次郎のサラリーマン

筑波久子
月丘夢路
長門裕之
大阪志郎
水戸黄門漫遊記

浮氣ハスベシ、処女ハ捨テヨ、文壇の鬼
才三島由紀夫が現代道德を衝く風俗劇

鶴田浩二
三船敏郎
草笛光子
白川由美
暗黒街の顔役

28日—2月2日

市川雷蔵
浦路洋子
金田一敦子
遊太郎巷談

一刀流霞斬り、恋と、血と、謎を呼ぶ

□ K H

1958.12



目

次

地方博物館のあり方

動物質問箱

絶滅した栗島の馬

今村 豊
高島春雄 三
内橋 澄 四

発掘の夢と現実

越後の民間考古学者

—近藤さんをしのぶ—

八幡一郎 八

新潟県の主要遺跡

考古研究室 九

小瀬沢洞窟遺跡

中村孝三郎 一二

長岡地方の昔話（上）

伝説の真実性に就いて

野草歳時記（一）

植物標本の作り方（①）

コウモリ（2）

表紙写真

表紙写真

表紙写真について

人面把手

長岡市柿部出土品、十一月十八日当館をおとされた
写真家土門拳氏によつて撮影されたものである。

地方博物館のあり方

今 村 豊

新潟で近ごろ評判のプラネタリウムを、私は三十年以前、ミュンヘンのドイツ自然科學博物館でみた。この博物館では、例え道路の室には、古代ローマから近代までの都市道路の構造を断面模型で示しており、汽車の室には、スチズンソンが最初造った機関車の実物大模型から、最新のそれまで、簡単から複雑、小馬力から大馬力まで、順を追って、進歩発達の様子が、素人でもよく判るように工夫してあるのには感心した。尤も原始的乗物の所に陳列された日本の駕籠の柄が、上下逆になっていたのには苦笑させられた。

イギリスの帰途みたニューヨークの科学博物館は、もしも念入れてみると、一週間通つても未だ足りないほど、内容豊富である。大きさ二メートルもある蚊の拡大模型が天井からぶら下つていたのを、今でも記憶している。

ト

ユンヘンやニューヨークのものに比べれば、見るかに貧弱な上野の科学博物館でも、悠久山に持つてくれば、長岡博物館は、コメット機の横の模型飛行機の様に、見えるであろう。どんなに科学教育の重要性がさけばれても、全国の地方都市が、それぞれ、首都なみの博物館をもつ事は、到底不可能に属する。

科

学博物館は、科学教育のための凡ゆる資料を集めめる所とすれば、通俗一般的のものを一とおり列べるだけに、老大な建物と費用とを要し、一地方の負担し得る所ではない。もしも、目的が大衆の科学的啓蒙にあるのならば、地方では貧弱な博物館を作るよりも、科学映画の無料公開を度々やる方が、効果も大きく、費用も少くて済む。

学会 人類学会、民俗学会員

方小博物館の使命は、大博物館の真似でもなく、啓蒙運動を主とするわけでもなく、他にあら筈である。これは次の様な恰好な手本があるので、参考にまで申上げたい。

ドイツのミュンヘンにアルペン・ムゼウムと云うのがある。元来個人蒐集によるアルプス専門の博物館であつて、地質、動植物、新旧の登山用具、遭難歴史を物語る遺品等、一切合切あつて、そこに行けば、アルプスの事は何んでも一応判る。小さな貧弱な建物に似ず世界的に有名なのは、他に類のない内容ゆえに外ならない。

小人数、小経費の博物館で、何んでも、かでも手を出さなければ、結局何一つ満足に得られないことになる。要するに重点的に、専門乃至地域に徹し、独自の特長を出すのが、小博物館のありかたであろう。

この種の博物館は、十年一日変化のない単なる陳列場であつてはならぬ。館員は番人ではなく、自他共に研究者を以つて任せ、資料の足りない分は、館員の頭と足とによつて補われ、内容が年々向上する事が望まれる。施設よく経費の豊かな事は勿論好ましいが、必ずしも、それのみによらない証拠を、アルペン・ムゼウムが示している。

長

岡市立科学博物館も北部日本海沿岸の石器、土器に関する限り、他に類のない豊富な資料を集め、これを無視しては、過去の日本海沿岸住民をわけには、行かないよう次第になりつゝある。館員の論じる精進は、やがて長岡市立科学博物館を小粒ながら特色ある天下の博物館の地位まで齎らす事を疑わない。

著者 新潟大学医学部教授・解剖学・医学博士解剖

動植物研究採集用具一式



志賀昆蟲社
及卯賀志

東京都渋谷区上通1丁目30
TEL (40) 3269

動物質問箱

高島春雄

ねを受けましたので、比較的多くの方々が同じ疑問を持つておられるのではないかと考え、次にお答え致しましょう。

問　トカゲなどは失った尾を再生しますが、ヘビにもそういう再生力があるでしょうか？

それから、ありすてられた尾が動くのはなぜですか？

答　トカゲやカナヘビ、カナヘビにとってもヘビの仲間ではなく、カナチヨロともよばれる尾の細く長いトカゲですが、それらは人間にでもほかの動物にでも、尾のあたりをつかまれたり咬えられたりすると、尾の一部をふり捨てるよう切り離しておいて行きます。たち切られた尾は、しばらくクネクネと動き廻っていますので、イスやネコもそのほうに気をとられて眺めたりいじくったりしているうちに、トカゲは素早くすがたを消してしまいます。こうして失った尻尾は、うまいことにまた後から同じ形の物がはえて来て、いつたん片輪になつたはずのが、もと通りのすがた形になるのですが、よく調べてみると二

高島 雄春

度目にできた、そういうのを再生といいますが、再生した尾の中には背骨のつづきは出来ていません。かわりの尾は一本だけ出来ればいいのに、間違つて二本できて二股の尾になることもあります。一部分だけ失つても命を全うできるほうがいいにきまっているので、トカゲやカナヘビでは自分から進んで、というのも妙な申し方ですが、部分を失うことにより全体を助けようとする力が生れながらに具わつてい、尾をふりすてて逃げるので。ところがヘビの尾はトカゲの尾とちがい、自分でふりすてて行くことはなく、容易にきれません。尾のほうを失つたヘビを、野外で見かけることはまずないでしょう。切れるとすれば敵に襲われてたち切れ、人間にいうと大けがをした場合で、しかも失った尾の代りがはえて来ることはあります。

なぜ動くかというのは、たち切られた部分というものは敵に近い位置にあつた部分で、それが生きているように動きまわりますから、敵はそのほうに気をとりますが、その表皮でも上の方は次第に角質化、つまり乾いたカラサカサしたものになつて、それから見えるほうを表皮といつています。上のほう、つまり

ういう役に確かに立つてゐるのです。なぜ動くかというのには今申し上げたのも一つの答えになりますし、今一つには、たち切られた尾にはその刺戟が急に来るのでも、脳の支配などと関係なく反射的に筋肉の収縮運動が起つてクネクネと動くことになるのでしょうか。同じくたち切られた場合でも、ミミズなどは体の内部がたくさんの環節構造、環といふか節というかそういう構造になつてるので、脳にあたるものも神経節といつていくつにも分れ、それぞれの環に脳があるのと同じですから、その脳の支配を受けけて筋肉が収縮し動くのだということです。

問　ヘビなどが脱皮するはどうしてでしようか？

答　私たちの皮膚について考えてみましょ。たくさんの細胞が何段にもならんで層をなしており、その下の真皮という部分に裏づけられて丈夫なものになつてゐます。上のほう、つまり

られただけはいつも補充を行っているのです。ヘビやトカゲの鱗というのは、表皮の角質の部分にしきりが出来たものと考えればよく、頭のほうでは舗石状で動きませんが、ほかの部分では蔓状に重なりあって、多少は動かすことができます。この鱗はなかなか丈夫ですかから体の成長に伴つて窮屈になつて来るので、そのため古い鱗をぬいで新しいのと交替する必要が起つて来ます。育ち盛りの子供たちの洋服が小さくなつて来ると同じです。皮をぬがない

状に変化し、古い層すなわち上のほうは人間がシャツを裏返してぬぐよう、引きつづきの物としてぬぎさてられるのです。まず鼻の先や、あごなどをすりつけてそここの皮膚を破り、それから頭全体の皮がはげ、あとは数分のうちに皮をぬいでしまいます。脱皮が終ればカイコなどと同じようく色彩も、光沢も、つややかになり、脱皮前とは見えるばかりです。



研究室の高島春雄氏

筆者 山階鳥類研究所専務
理事、動物学会、昆蟲学会、
鳥学会役員、動物渡來物語、
動物と私たち、動物の冬ごも
り、動物園や博物館での研
究、等の著書がある

野草歳時記(二)

稻田豊八

著者

「ソバ」は、「タデ」科の作物で、五穀の中には入っていないが、開墾地や高冷地に育つ穀物である。信州の更科そばもさることながら、会津の奥地檜枝岐村では、踊と共に「そば」は名物で、そば粉をそのまま熱湯で捏ね上げ、十五センチ位の大きな団子に丸め、少々圧しつぶして、そのまま炉の中に埋めて焼くと、表面が、キツネ色に焦げて薄皮が張る。火箸で上げて、手の掌にのせ、フードと軽く吹きながら灰を吹き飛ばして、ポンポン叩く。三つか四つに千切って、味噌汁の中に放り込んで食べる。そのまま食べても甘味があるて伸び美味。凡そ常食というものは、軽い塩味位はとに角として(パンには塩が入らぬと不味で食べられたものではない)味のついたものは飽きが来て、主食となり得ないというから、「そば」も、長崎や、小麦粉でつながない方が合理的であるかも知れぬ。処によつては「アンブ」と云つて、中に副食を詰めることがあるかも知れないが、檜枝岐の七入りのそれは、ストレートであつて、本当に美味であった。

或るとき守門山に、高貴な御方が御出でになることとなつたので、山の開墾地に「ソバ」を播いて、ヒュッテで「手打そば」の作り方を御覽に入れよう計画し、その原種を檜枝岐村長に斡旋方願つたところ、「檜枝岐のソバは、天下第一の味を持つている。守門山などでは決してよいソバは実らない筈だ。これが檜枝岐の「そば」だなどと高貴の御方に差し上げて貰つては、大に迷惑するから、こちらでその頃種子を送るから、それを粉にして上げはどうか」と村長氏の鼻息は伸び荒かった。私も少々当たらねながらも、そのプライドに敬服もした。

「御説明ながら、当地は日本一の米の産地「ソバ」などはほんのなぐさみで、貴地の常食とはやゝ異つてゐる。然し、山の開拓地では、木の根が腐るに都合がよいというので、まつ先に「ソバ」を播くこととしている。そんな訳で、何十何百年も「手返し

大日本地名辞書によると、島人は漁業と放牧をなすとある。土地の人々の云い伝えによると、義経が都落の節、岩船郡上海府村と下海府村の界にある馬下から難路のため馬をつれての北行が出来なくなつたので、この地で馬を放したので栗島に泳ぎ渡つて、そこで着殖するようになったとしている。

潔橋内

馬の棲息した場所

栗島はほど南北に延びた第三紀層よりなる小島で、面積九五五平方糠、島頂部、ことに北方部には平坦な原野が展開しているが、島の周辺は急傾斜となつて、海に迫つてゐる。

馬の棲息した場所

馬追行

野生馬がかつて棲息したのは、この小島の頂上に当る処であつたが、春から秋にかけて柵をした一定の地域に追い込んで、農作物を食害されるのを防いでいた。野生馬の追込場所は東側の内浦部落に二カ所、西側の釜谷部落に一カ所合計三カ所あつた。追込場所は毎年移動した。例えば第一年目に、内浦の一ヵ所に追込むと、次の年には全部落の他の一ヵ所に、次ぎの年には、釜谷部落の追込場所に入れた。野生馬の追込場所には、二カ年続いて入れたので内浦部落の追込場所には五年目に一度柵を作成すればよかつた。

春になつて雪が融けると、天氣のよい日に両部落の老若男女が弁当をもつて、山頂部一帯に分散している馬を追い立てる。子供達は、あられや黒砂糖などのおやつを持って、野馬の追込みに参加したもので、半ばは村人達の行楽であつた。予め予定されてゐる追込み場所に追込まれる馬は、野生だけに気性が荒く、村人達は大声を擧げて柵内に追いこむのだったが、時には馬にかまれたり、蹴られたりする者もあつた。柵は極めて簡単なものであつた。農作物の収穫が終る晩秋の頃になると、自然に柵が破損し、そこから柵外に野馬が出てしまつた。秋の終り頃から、翌年の春に行われる馬追いまでの期間は、山頂部一帯の原野に野生馬は幾つかの群をなして冬を越した。

村人のみた馬の生態

栗島でも一米前後の積雪は珍らしくないし、寒氣も時には厳しい。冬の寒い日など顔からちらを何本もさげた親馬や小馬が、人里に下りて来たことがあつた。それは、雪の日に食料となる牧草が雪に覆われてしまつて、食物がなくなるので食を求めて人里に降りて来たものだが、村人達はそれをまた山へ追払つた。

大衆的食堂久山公園内



株式会社 ニューパーラー TEL 2501

広井精肉店

長岡市学校町
電話 524番

発掘の夢と現実

藤田亮策
日本考古学協会委員長

五年前とか、三千年の昔の人々の面影が、眼の前に浮び出るかのように夢中になつて、野を掘り、畑をあらし、砂丘までくずして、土器のかけらや石器の断片を拾うことを、考古学者と思つてゐる人がある。古代の墓をあばき、須恵器や鉄片を並べ立てて、上代人の生活がわかつたかのような錯覚の中に、天晴れ世界の学界に貢献しているものと、肩をそびやかす学徒も少くない。すべてが古代の夢を追い、未知の世界にあこがれる心の迷いから出て、人間の過去を知る研究の方法をおざりにすることが多いためである。

今日、人間の歴史の知られているのは、せいぜい千年か、二千年間で、三十万年とか、五十年の遠い過去には、まことにゆっくりと発展の途をたどり、ごく稀に石器や、洞窟や、壁画を遺すに過ぎない。新石器時代から金属時代に入つては、僅かに五六千年前で、段々と急速に新らしい知識と、珍らしいものの発明を繰返して、現在の眼まぐるしい世の中になつたのである。どうして今の人間が生れ出で、今日の社会生活を作り出したかを知ることは、生きた現代を知る、唯一の方法であるので、歴史も、考古学も、人類学も非常に骨折つていて。しかし何の学問から入つても、厳肅な資料の蓄積と、整理と、解剖と、比較研究による面倒の仕事で、生やさしくない。特に考古学的発掘には、何が出るか知

れないという大きな期待と、発掘者にのみ許される「初見」という興味がある。おまけに遺跡は山野にころがつていて。中学生も、小学生も、忽ちに「考古学者する」気持になることは、当然である。但し、発掘者にのみ許される「初見」は、実は「終見」であることが多い。幸に土中に在つたから三千年、四千年と保管されて来たのに、空氣中にさらされると共に消滅するか、破壊されるとすると、発掘者たちは、何等かの方法で永久に遺す方法を講ずべきである。正確の記録と、写真と、実測図などが考古学者に要求され、何人にも理解できる報告書出版の義務を負わされるのもそのためである。毎日のように各地で発掘され、採集されている「過去」が、果して、考古学的業績であるか、単なる盜掘と破壊にすぎないかの区別が生ずるのである。

土中の学術資料は、土地所有者のものでも、発見者のものでも無く、悉く「公的」性質のものであることは、世界の通論である。発掘品は私藏せずに、研究家にも愛好家にも公開すべきで、博物館はそのためであるのである。歐米の博物館では、博物館自ら発掘し、探査し、採集することを本務とし、その中から確実の資料だけを陳列するのである。大学や研究所の学者達もこの探査や発掘に参加し、或いは採集資料の研究に満足している。博物館の陳列室に排列するには、幾千のもののみに限られるので、無数の材料を

めて整理することが前提条件である。博物館は教育機関である前に、研究機関であること忘れては、無責任の骨董やカーブ本やと選ぶところがない。陳列室の外に、研究室がいかに整理され、研究者に利用されるかにより、博物館は評価される。その点は自然科学も人文科学も区別なく、これが博物館の本質であるべきである。

藤

田
亮
策
日本考古学協会委員長

化 学 機 械 の 設 計、製 作、据 付



玉川機械金属株式会社長岡工場

(旧株式会社日曹製作所長岡工場)

新潟県長岡市蔵王町526-1 電話 長岡 1,850 (代表)

本社 東京都中央区銀座西2-3 電話 京橋 569,281 (代表)

若松工場 福島県会津若松市一箕町 " 会津若松 1,910 (")

著者 東京芸術大学教授・著書朝鮮考古学研究、朝鮮古文化総鑑、石窟庵と仏国寺等

長岡地方の昔話

(上)

水沢謙一

伝説の 真実性に就いて

小林存

長岡地方の昔話採集に、手を染めてから、すでに八年位になろうか。昔話の採集と研究は、この地方でも全くの未開拓であつただけに、勿論、私如きがその適役であつたとも思つていなかつたし、また、個人プレーの及ぶ所でもなく、もう止めようかと思つたことも、何度かあつた。

しかし、私が教師であり、昔話

が、伝承童話としても、また、昔

話の背後にある民俗学的な問題

が、社会科にも関連があつて、子

供たちにも深くつながつてゐる

いふ考えにも支えられ、また、ふ

るさとの文化発掘のために、いさ

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

く

越後の民間考古学者

近藤さんをしのぶ

八 檻 一 郎

今から二十数年前、越後方面を旅行して帰られた渋沢敬三先生が、長岡の近藤湖治郎さんが土器、石器を沢山集めており、君に一度見て貰いたいと云つておったから、都合のよい時に行つたらどうかとすすめられた。その年の夏、私は信州から足を伸ばして長岡市外関原町の近藤邸を訪れた。そして二階に請ぜられて、さて遺物拝見の段になつて驚いた。蜜柑箱や林檎箱が土蔵から次々と運ばれ来て、三十疊敷かの大広間が所狭きまでに積まれたからである。浴衣を拝借して坐りこみ、何でも三日程ぶつづけでみたが、最後には些か食傷気味で、近藤御一家との話の方に身を入れるようになつた。その時私は近藤さんに、各地の蒐集家は形の整つた石器を好んで集め、近藤さんのように零細な土器破片まで目に留まるものは殆んどありますところなく集めて飽きない人は見たことがない、敬服しますと讃辞を呈してから、これだけ精力と資力とを費やすとすれば、どこかを一つ丹念に発掘してみたら如何ですかと勧めたのであつた。

それから一年たたない内に、家に近い持畠を片隅から掘り始めて、次々と金形のわかる見事な土器や、火焚場の址、石器などを得たという通信が盛んに来るようになつた。そしてその都度ドロボックルになれとすすめて貰つたことを感謝すると書加えてあつた。何年

か後に同家を訪れた私は、一家総动员で発掘、遺物洗滌、裏書き、復原した壁がずらり並んでいるのに又々驚いた。近藤さんが火炎土器と名付けた土器などはまことに神品である。そして今度は全く恐れ入つてしまつた。この方で本当の相談相手であった長男の篤三郎さんに先立たれたり、近藤さん御自身長い療養生活が続くななど、随分不運続きになつてからも、近藤さんの考古学研究の熱は高まりこそされ、些かも減退することはなかつた。そして近藤考古館は御一家のそれこそ手塙にかかるて充実していった。

戦後二年を外地で過して戻つた私は、近藤さんの永逝と、農地解放、財産税の犠牲となつて近藤家が没落に瀕していることを一時に聞いて暗然とした。近藤さんとその御一家の皆さんの暖かい豊かな雰囲気に幾度となく入ることができただけに、敗戦の深刻な苦腦をここにもみると長嘆息した。

十年程前長岡市長から相談したいことがあら来て欲しいとの連絡があつた。近藤家を訪れたいと思っていた矢先だったから出向いた。市当局は悠久山に市立の科学博物館を設けることにしたが、ついては近藤家の蒐集品を譲り受けたいがどうか、又考古部の構成、陳列について意見を聞き度いといううことであった。何は兎もあれ、私は久方振りに

近藤家を訪れ、近藤父子の仏前に詣でた。変転極りない世状に打ちひしがれた親子の未亡人と成人したお孫さんを見て眼頭を熱くした。それから間もなく、完成した博物館に近藤家の好意によつて莫大な資料が、同館に搬入された。それらは考古学研究の資料として不朽の光芒を放つているが、中でも馬高のものは近藤さんの学問に対する情熱を潛めて、同館の支柱となつたのであつた。しかも同館には近藤さんのよき後継者中村孝三郎君が在り、その遺品と遺志とを双つながら保持し、更にそれを発展させつつある。近藤さんは地下で喜こんでおられるに相異ない。

昭和三十三年七月

(馬高図録より転写)

出版おしらせ

小林存歌集

『玉 石 同 架』

B 6 版、一六〇頁

定価送料共三〇〇円

御希望の方は当館、又は新潟市新潟日報社渡辺赳夫へお申込み下さい。

中村孝三郎編
『馬 高 図 錄』

B 5 版一六〇頁
定価九〇〇円

発行 長岡市立科学博物館友の会
御申込みは当館友の会

冬の流行を決定する

新春の呉服逸品と婦人服地



フジ丸五

新潟県の主要遺跡

長岡市立科学博物館
考古研究室

中村孝三郎・関
寺村光晴・小林達雄

戦後、もうこの言葉は当つてないかも知れないが、ともかく昭和二十年を境として、各地に考古学上の発掘調査が盛んに行われた。県内においてもやはり調査活動が各地にくりひろげられた。新しく発見されたもの、再検討がなされたものなどいろいろある。小さな一片の土器、石器の発見を数えればそれは厖大な数である。それで私達は整理の意味からも、戦前から今日まで調査された遺跡の中で最も特徴があり、その時期を代表すると思われるいくつかの典型的な遺跡をとりあげてみた。もれでいるものもある。数は少ないが県内の考古学の時期的な推移が幾分でも判れば幸いである。なお未発表のものは紙上ニユースを基としたし、また、古墳時代以降は割愛した。

貝坂遺跡（中魚沼郡津南町小坂平）
無土器文化時代の遺跡で昭和三十年本館考古研究室が発掘調査を行った。詳しくは、N.K.H創刊号「新潟県における無土器文化」を参照されたい。

神山遺跡（中魚沼郡津南町神山）

貝坂遺跡と殆んど同時期の遺跡である。今秋九月芹沢長介氏指導の下に津南町教育委員会が発掘した。ナイフブレイド（石刃）ブレード・グレーヴァー（彫刻刃石器・コア）（石核）・磨石が出土している。

荒屋遺跡（北魚沼郡川口町西川口字荒屋）

無土器文化時代末期の細石器文化期の遺跡である。長野県矢出川

と、押圧施文の繩文の丸底あるいは小さな平底土器が出土し、未だ編年的位置に疑義もあるが、小瀬ヶ岩陰遺跡発掘によつて、繩文文化早期の前半にあたるのではないと臆測される。

（芹沢長介・中山淳子「新潟県津南町本ノ木遺跡調査予報」越佐研究十二集）

卯ノ木遺跡（中魚沼郡津南町卯ノ木）

繩文文化早期の遺物を出土する、回転押捺文の格子目文を主体とし、他に山型文、隋円文を出土している。今春五月芹沢長介氏により発掘調査され、マイクロブレイド、グレーヴァー、エンドスクリーパー（先刃器）舟底形石器が出土している。

（中村孝三郎「新潟県中魚沼郡津南町卯ノ木押型文遺跡」考古学雑誌四三巻三号）

坂蟹沢（中魚沼郡真人村芋沢）
繩文文化早期の遺跡である。隋円文を出土し、近藤勘治郎氏の調査により越後の押型文文化の研究發火点となつた。古くから標式遺跡とされていた。

（八幡一郎「越後中魚沼郡芋沢の土器の略報」人類学誌五一卷一二号）

下別當遺跡（中魚沼郡津南町）卯ノ木、本ノ木両遺跡と本遺跡は、段丘を異えて、互いに隣接している。

葵

長岡市大手通り

洋画材料



葵

(小千谷市役所教育委員会)

「大平遺跡」

三十稻場遺跡(長岡市関原町)

刺抜文にその特徴をもつ三十稻

場式土器のタイプステーションで

ある。故近藤勘治郎父子によつて

世に紹介されたもので、その土

器は縄文文化期のもの。最近近藤

家所蔵品中より南三千稻場における新資料が発見された。

(早稲田大学「越後関原縄文」)

三仏生遺跡(小千谷市三仏生)

縄文文化後期後半の三仏生式土

器の出土地として早くから知られ

ていたが、本館主催による昭和三

十年八月調査の際は典型的な土器

を出土した。またアスファルトの

出土やピット等の遺構に注目すべ

きものがみられた。

(長岡市立科学博物館「三仏生」)

関沢遺跡(北蒲原郡中条町)

縄文文化後期の遺跡であるが、

県内で初めての多数の配石遺構が

発見された。俗にストンサークル

といわれているものに類似したもの

で注目すべきものがある。昭和三十二年八月中条町教育委員会主

催で調査。

(長岡市立科学博物館「石倉」)

石倉遺跡(柄尾市上塩谷)

縄文晚期前半の石倉式土器を出

すする遺跡である。その他に塔ヶ

崎、三十稻場、三仏生式土器も出土している。昭和二十七年本館により調査。

(佐野市立科学博物館「石倉」)

遺跡発掘調査報告一

藤橋遺跡(長岡市藤橋)

昭和二十六年本館により発掘調

査。縄文文化晚期の遺跡である

が、晚期後半の藤橋式土器を多量

に出土する。特に玉類が豊富に採

集されているのは特徴的である。

乙茂飯田遺跡(三島郡出雲崎町)

縄文文化終末期のもので、他の

時期の遺物の混入がみられない良

好な遺跡である。

(寺村光晴「新潟県乙茂飯田」)

遺跡(石器時代)

鳥屋遺跡(北蒲原郡豊栄町)

縄文文化終末期の遺跡で、一部

にシジミの貝塚がある。条痕文

を有する土器が大半を占めている

が地点により多少の差があるらしい。昭和三十二年八月北方文化博

物館により発掘調査が行われたが

報告は近刊の予定。

(磯崎正彦「新潟県鳥屋の晩

期縄文式土器(予報)」石器

時代四号)

之瀬(之瀬)

六之瀬遺跡(北蒲原郡安田村六

之瀬)

本遺跡出土の土器(六之瀬式土

器)は日本北部の縄文式土器であ

る大洞A式土器と系譜的な関連を

もつっている。弥生式土器を研究す

るために欠くことの出来ない資

料である。

(杉原莊介「古代前期の文化」)

山草荷遺跡(北蒲原郡加治村山

草荷)

山草荷の土器は、細かい縄文を

持ち細く鋭い洗練で渦巻や鉤歎状

文などが描かれ、盃を逆さにした

木葉の圧痕がある。

ような特異な口辺部を持つ壺形土

器が特色で、東北地方南部と共に通

した特徴をもつていている。朱塗の手

法が極度に発達し、底部には布目や

若葉の圧痕がある。

本間嘉晴「佐渡原史文化に

対する二、三の考察」上代

文化二十集

若宮遺跡(佐渡郡畠野村)

弥生式時代の攻玉遺跡として知

られていたが、昭和二十八年九月

八幡一郎先生を中心として調査さ

れた。この結果玉作関係遺物は主

として弥生式の層より出土し、主に後期に属するらしく、玉製品

は碧玉製が主で鉄石英、ヒスイ原

材等の出土もあった。なお上層か

ら土師器、須恵器(平安朝)も出

土している。

(中川成夫「佐渡畠野村若宮

遺跡の調査」越佐研究第

五、六集)

千種遺跡(佐渡郡金沢村大字千

種)

国仲平野の沃田地帯に存する低

地性遺跡である。昭和二十七年国

府川改修工事のさい、発見され國

学院大学、県教委佐渡古代文化研

究会とで調査が行われた。本遺跡

調査が行われた。この遺跡は砂丘

上に存し、クシ目文、縄文、列点

文などを有する甕、無文の壺、高

坏などを出土し、中には紋痕を有

する土器も十数片見えられ、越後

の稱作文化を知る上の貴重な資料

である。その他打製石鏃、有孔石

斧、玉、アメリカ式石鏃も出土し

ている。

(竹の花遺跡(佐渡郡新穂村字竹の花))

本遺跡附近一帯は細形管玉を中

心とする攻玉遺跡である。

出土土器は沈線を主とする久ヶ

原式に対比するものや大形丹塗高

坏・組立式高坏などもあり石鏃、

角玉、管玉、石鋸、など出土して

おり非常に珍らしい遺跡である。

(大場磐雄博士「日本文化大

系・原始古代篇より」新潟

百両山遺跡(新井市斐太百両山)

本遺跡は新井市の北、もとの斐

太村雪森地区の小さい山(百両山)

の頂上に群集する堅穴群で、堅穴

が全部埋まらずくぼみをなして集

まっているという珍らしいもので

ある。堅穴は五十余ヶ。弥生式末

期の土器やヒスイの玉を出土して

いる堅穴群も存し、他に土師器

須恵器(古墳時代)などを出土す

る。昭和三十三年来駒井す。

(志賀昆虫普及社特約店)

吉田教材株式会社

本社 長岡市玉蔵院町

TEL 2744番

出張所 柏崎市本町五丁目

科学模型教材の店

龍文堂模型店

長岡市表町一丁目
電話 2782番

科学教材

昆虫・植物採集用具
標本類・各種模型

志賀昆虫普及社特約店

吉田教材株式会社

本社 長岡市玉蔵院町
TEL 2744番
出張所 柏崎市本町五丁目

新潟県東蒲原郡上川村神谷

小瀬沢洞窟遺跡

中村孝三郎

人達の生活中か、またはその後に岩頭が崩れて埋まり、現在は洞窟と云うより、岩陰遺跡と呼んだ方がよいような姿でした。

発掘調査は今年七月廿四日か

ら卅一日までつづけられました。

この間八田蟹部落の宿舎から、片栗六糸の道を毎日遺跡まで徒歩往復し、五日間は豪雨の

小瀬沢洞窟遺跡は阿賀野川沿

岸、津川町の南西約一八糸、上川

村に在つて福島県境の御神楽岳

(一、三八七米)を水源とした室谷川と、鍋倉山(一、一〇七米)から流れる小瀬沢川の合流する地点の山麓にある約百米の断崖の中腹、天然の巨岩の裂目を利用してあります。

この遺跡とその性格は、昭和廿八年以来私の知るところでした

が、私共の小研究室の調査発掘の行動圈を考えると、少し遠距離にあるため静穏してきたところでありました。

昭和卅一年十二月、明治大学、

芹沢長介氏が発掘された、中魚沼

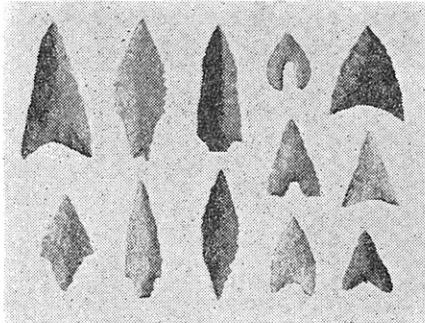
郡津南町元ノ木遺跡で多くの石槍

が出土、更に翌卅二年八月、東大

人類学教室、山内清男氏が同地点

を発掘され、再度の発掘で出土石

槍は計八百有余点の多量にのぼりました。またその石槍と共に土器が若干出土しましたが、その土器は繩目文が施されました、それは普通みられる繩を廻転させたものでなく、土器面にたゞ繩を押しつけただけの施文法の押圧繩文の小平底土器でした。



小瀬沢洞窟出土 石鏃

この元ノ木の第一回発掘後、石槍をめぐつて遺跡の古さ(所属地)などについて芹沢氏と私の間に見解の相異があり、そのため山内、芹沢氏より同質の遺跡が他になつかとの話がありました。私は川井愛染堂附近と足淹及、小瀬沢洞窟遺跡の両者を考えましたが、結果、遠距離で、然も困難性はある

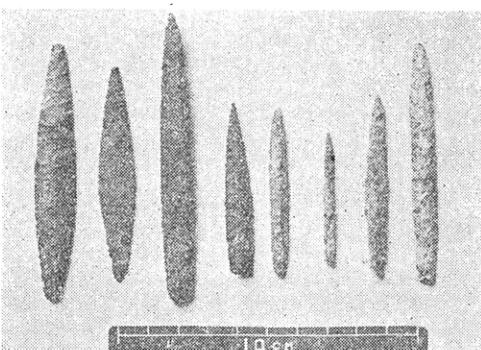
が、確実な小瀬沢洞窟遺跡を調査発掘することにしました。

この遺跡は、大昔は大きな流紋岩地層の裂目が、自然の洞窟を形成していたのでしようが、当時の

健闘は特記してよいものでした。発掘溝は、洞窟前の小斜面地に三ヶ所設けましたが、中の二号溝は労力不足と、大石塊のため、中止のやむなきに至りました。一号発掘溝は、(幅二・五メートル)洞窟の入口に向けて切りました。堅い大岩

石が累積して一日二メートル位しか前進できず、七日目にやっと窟洞の一部へ二メートル突入することができる

出土遺物



小瀬沢洞窟出土 石槍

出土遺物

土 器

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

包含層の上部第一層から、少く

ない量でした

が山形、格子目の二種の押型文土器(それらの模様を

陰刻した棒を器面に廻転施文した

土器)と、撲糸文土器(棒に細紐を捲いたものを土器面に廻転施文した土器)片が出来ました。

第二層から、箆状工具や、銳利な石片等で爪形や突刺方法で模様

をつけた土器と、撲糸文土器(これ

の撲糸文は廻転でなく只押圧施文

したもの)と、小量の繩文土器が

遺物は、深さ二・三メートルの石塊層の下にある當時の人達の生活地

層に含まれていて、この層は黒色または黒褐色の粗い砂質土で

た。この黒色土層は、密度や色等

から三重層になつていることが良

く判ります。

また三号溝は、洞窟前の小斜面

地の東端に設定しましたが(これ

は石器製造址をねらつたもので

す)やはり三メートルで包含層に達し、無数の細い石槍や、エンドスクリーパー(先刃器)が出てきました。またある部分は火をたいた場所が出てきました。

出土遺物

出土しました。

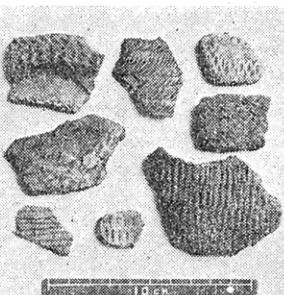
最下層の第三層から、無文土器と、簾状の櫛目文土器が出てきました。これは私共の初見のものでした。

これらの土器片は量も少なく、破碎した小破片ばかりで、まだ土器の底は発見されていませんが、多分丸底か尖底（とがり底）と推定されています。土器は非常に薄く、焼きは良好のものと、稍粗荒のものとがみられます。

石やじりは百点以上出土、実際に作り方をしています。無柄、有柄ともあつて、無柄やじりの中には、抉り込みの極めて深い、割った胡桃の実のような形や、また恐やきの葉のような形や、また恐らく、日本で始めてみられる形の石鏃も含まれていました。この繩文早期初頭の石鏃群は、今迄の私

達の時代時代によつて石鏃の形が変化し、然も定形化されたとの見方を一変させる、重要な資料となりました。これは私共の初見のもので、石斧は、極めて稜の高い肉厚片に蝶番（ちようつがい）剥離（ステップ・フレイキング）を施し、普通みられる石斧と異なる作り方のものです。

また刃先だけ磨いたものも大小數十点出土しています。



小瀬沢洞窟出土土器

獸の皮剝、石匕も、縦形の立派なもののが数本出土しました。それから、細長目の剝石の先端に美しい刃を附けたものや、丸、橢円等の扁平な剝離石片の全周に、細かい刃をつけた円形刃器、美麗な赤い鉄硅石の石刃、器彫刻刀（グレイバー）等、今までの土器文化期にみられない、極めて鋭刃な石器類が夥しく出土しました。一番多く出土したのは石槍でした。長さ

一九厘米、巾五厘米の大形のものから、断面が三角、四角、五角の火箸のような、細い棒状の石槍が数百点出たことは特記すべきことです。これは日本で始めて姿を現らわした石槍と云われ、長さ九厘米八耗のこんな凄い石槍をつく

りだしたその製作技術途や用に對しても、いま研究が進められています。この他鳥、獸の骨も若干出土しています。小瀬沢洞窟の出土物は、日本の土器文化期の一一番古い時代に属するものと考えられますが、今閲後

ました。

小瀬沢洞窟の出土物は、日本の

文時代初頭（七一八、〇〇〇年前）

に、物凄い石槍の発達した時期が

日本にあつたことが解明されて

きました。

小瀬沢洞窟の出土物は、日本の

文時代初頭（七一八、〇〇〇年前）

に、物凄い石槍の発達した時期が

植物標本の作り方

1

吉原正秀

毎年のこと長い冬が終り雪が消えて、野にも山にも植物が長い眠りからさめたように、緑の葉をのばし、美しい花を開く頃になる

くつく思われらる、小学校へ入つたばかりの生徒でなく、中学の三年生あたり時に高等学校の生徒にさえも見受けられる。

それらを考えてこれからいつぱり

な標本（美しい花や葉をつけていて形のよいなどではなく、植物標本として価値のあるという意）はどのようにして作つたらよいかこつて書いて見ることこそす

は花である。ムキヤイネの花は小さい方であるが、カヤツリグサの中には虫メガネでないと花があるのかさえわからぬ程小さいものもある。

イは春早く、イヌガンソクは秋遅く
くこの葉ができる、普通の葉と子
囊のつく葉とそれぞれの時期に短
集しなければならない。

完全な標本とはいえない。であるから根、茎、葉、花、果実など全部をそろえたものが理想的であるが、時期により場所によりこれら全部をそろえるということはむづかしい。このようなときはせめて花、実はほしいものである。この花や実は植物を調べるには、ぜひ必要なものでことに花はなくてはならない。たとえ小さくて見えないような小さな花であっても花は花である。ムギやイネの花は小さい方であるが、カヤツリグサの中には虫メガネでないと花があるのかさえわからぬ程小さいものもある。



▼採集する植物について

物の採集が一せいに開始される。いずれにしても採集したもののが全部の研究はできないので、せめて植物の名をえくらは知りたいというので、でき上った標本を持つて館へ来る人がそうとうたくさんある。それを見ると中には非常にりっぱにでき上っていて、こんなによくもまあできたものだねと、実際驚く程のできばえのものもあるが、中にはこれでも標本をつくったつもりなのかしらと思われる程、おそまつというよりも標本としての資格のない、ちょうど山や野原へ行って草刈りしたものをおしばにし標本にしたとしか見えないものもある。なぜもう少し考えて採集しなかったのかと、つ

標本のつくり方で、標本製作入門という所でくどい程細かく書いた所もあるし、また省いている所もあるが、誰にもたやすく実行できると思う。よく読んで実行していただきたい。

物とに大別されている。何れにしても花が咲く頃、子囊ができる頃になればその植物は成長しきつた完全な形になつている筈で、芽が出たばかりのものや、これからまだ成長して行かなければならぬ発育途上にある植物は不完全な形である。こういうものを採集してもそれは植物図鑑や植物図説には書いてないから本によつて調べようとしてもだめなわけである。

カルテックス石油会社
日本石油株式会社 特約店
秩父セメント株式会社

小林石油株式会社

(本社) 長岡市城内町二丁目
電話(長岡) 4320番
(営業所) 直江津市本町四 電話 2636番
3029番
(油槽所) 糸魚川市横町 電話 34番
糸岡市新栄町一 電話 2894番
直江津市黒井 電話 2163番

風味 絶佳



長岡市本町 平石釀造吟釀 電話1433番

この動物は夏季に多く観察され、冬季には本県の場合見ること

いることはもう御存知のことと思

う。

はむづかしいようと思われる。それは棲息地の主たる洞穴所在地が海岸線にあり、晚秋から初春にかけての激浪のため観察に行くことが困難なこと、たとえ棲息場所が山地帯にあっても余程の条件がそろわないと

降雪が多いため入洞が不可能に近いことが挙げられる。こんなことから夏季のみの観察に終つて、冬季の冬眠、越冬の問題が解決されずおるのが残念である。しかしひとまずここに今までの採集種名と、それらの概況について報告することにした。此の稿を草するにあたり、採集に御協力賜った森田芳広（笠島小学校長）、片山宣（青海川区長）の両氏、柏崎市教育委員会、新潟大学岩沢久彰先生、御山町大野長司、岩船郡渡部長、渡辺権次郎の諸氏、貴重な標本を御恵与下さった富川竜太（柏崎高校）樋熊清治局長の両氏に御礼申し上げる。

創刊号でも述べたように、翼手目CHIROPTERAといふ一つの分類上の大きな位置をしめ、他のネズミ等の類縁と立場を異にして

では七月下旬の共入洞既に♀は分娩後であった。棲息数約七〇頭

(2) ニホンコキクガシラコウモリ

Rhinolophus cornutus corn-

utus Temminck

柏崎市青海川 (♂) 前者と同様

夏季六月中旬入洞分娩、哺育につとめる。棲息数約六〇〇頭

(3) ホンドウサギコウモリ

Plecstus auritus sacromonti

s G. M. Allen

南魚沼郡土樽（標高1000米）

(♂) (採集者樋熊氏) 余り棲息数

は多くない、これは集団行動は余りしないらしい。

(7) ヤマコウモリ

Myctallas atiator Thomas

長岡市悠久山公園 (♂) 単独で

柿の木に静止しているのを発見探

集（大野氏）

(8) ヨヤマコウモリ

Myctallus noctula montan-

nu Kihida

新潟県天産誌に北条（刃羽）と

あり、

以上は今日まで記録されたものでコヤマコウモリを除いて全て標本を保存している。この他の採集地としては文献（朝日、飯豊国定公園調査報告）が入手困難で見

いないが八尾市秋田一貫氏の御教

示により更に採集地が追加できる

ことを付け加えておく。まだいろ

いろな地方で種々のコウモリが追

加されるることは当然のことである

が、新潟県のコウモリ類の分布確

認上、皆々様の御援助をお願いし

たい。又洞穴等棲息地を御知りの

方は当博物館鳥獣研究室宛御一報

願いたい。

(注) 柏崎市青海川猩々洞は現

在新潟県天然記念物に指定され本年より採集は出来ない。

（次回はコウモリの形態と發生の予定）

コウモリ

(2)

県内採集品と概説

晋羽千示

モリ(新道—刃羽)、コ

ヤマコウモリ(北条—

刈羽)、アブラコウモ

リ(普通)とある。

その後の記録は一、

二に留まり、皆目ない

といつても過言ではない

かろう。

近年それらの棲息数も少くなり、(それはアブラコウモリにも見られるごとく)以

た。此の稿を草するに

あたり、採集に御協力

賜った森田芳広(笠島小学校長)、片山宣(青海川区長)の両氏、柏崎市教育委員会、新潟大学岩沢久彰先生、御山町大野長司、岩船郡渡部長、渡辺権次郎の諸氏、貴重な標本を御恵与下さった富川竜太(柏崎高校)樋熊清治局長の両氏に御礼申し上げる。

創刊号でも述べたように、翼手目CHIROPTERAといふ一つの

分類上の大きな位置をしめ、他の

ネズミ等の類縁と立場を異にして

頭入洞する。佐渡郡北狄産のもの

山地帯にあっても余程

の条件がそろわないとい

う。

越後の翼手目については古く大正

年間に発行された新潟県天産誌に

その源を発している。この記載に

は、コキクガシラコウモリ

(鮫波)、キクシガラコウモリ(鯨波鬼

波)、穴(福浦穴)、ヤマコウ

モリ(新道—刃羽)、コ

ヤマコウモリ(北条—

刈羽)、アブラコウモ

リ(普通)とある。

その後の記録は一、

二に留まり、皆目ない

といつても過言ではない

かろう。

近年それらの棲息数も少くなり、(それはアブラコウモリにも見られるごとく)以

た。此の稿を草するに

あたり、採集に御協力

賜った森田芳広(笠島小学校長)、片山宣(青海川区長)の両氏、柏崎市教育委員会、新潟大学岩沢久彰先生、御山町大野長司、岩船郡渡部長、渡辺権次郎の諸氏、貴重な標本を御恵与下さった富川竜太(柏崎高校)樋熊清治局長の両氏に御礼申し上げる。

創刊号でも述べたように、翼手目CHIROPTERAといふ一つの

分類上の大きな位置をしめ、他の

ネズミ等の類縁と立場を異にして

頭入洞する。佐渡郡北狄産のもの

長岡市宮内町 (♂) (♀) 同市

学校町 (♂) それぞれ一頭ずつ、

此の種は県下各地に居り、この他

三島郡与板町、新潟市内、岩船郡

栗島、佐渡、柏崎市内等にて観察

している。

(7) ヤマコウモリ

Minipterus seitreiersii jo

pionoe Thomas

柏崎市青海川 (♂) (♀) 佐渡

郡相川町達者 (♂) 同郡北狄 (♀)

(♂) 岩船郡山北村府屋 (♂)

相川町達者岩船郡府屋を除いて

は全て♀共に棲息している。そ

して♀は何れも分娩、哺育してい

た。棲息数は前より八〇〇頭、

二〇〇頭、一〇〇〇頭、二〇〇頭で

あった。

(5) ニホンセキクガシラ

Rhinoslophus ferr-

um-equinum ppon

Myotis macroductylus mac-

roductylus Temminck

柏崎市青海川 (♂) (♀) 岩船

郡山北村府屋 (♂) (♀) 佐渡郡

北狄 (♀) (♂) 三地域共冬期越

冬するものの如く、分娩、哺育も

見られた。

(6) アブラコウモリ

Pipistrellus obramans Temm-

inck

長岡市城内町一丁目

株式会社 中央印刷商店

電話 732番

本社 十日町市本町三 電30.333
十日町工場 十日町市加賀町 電858

——暖いお部屋の家具は——

おめでたい御婚礼調度品！
新春をむかえる美しい家具！

家具の渡彦

長岡市本町 TEL 1430

第四条 本会の会員

一賛助会員 年額一口一〇〇〇

円以上を納める個人

人又は団体

二普通会員

(A) 年額四〇〇円を
納める個人

(B) 年額二〇〇円を
納める高校生

(C) 年額一〇〇円を
納める小中学校生

三月十七

ボクの名前をつけて下さい

たのですみ

しがつてい

ます。館の

小父さん達

がよく一緒に

に遊んでく

れますが、

まだ名前が

あります。皆さんい名前を

つけて下さい。



日に生れた
オス猿で
す。お乳が
なくともも
う何でも食
べます。そ
れで今は一
人で住んでいます。寒くなつて
お山へ遊びにくる人が少くなつ

室で先生方の熱心な御指導御批
判をいたゞけたことは当研究
室最大な喜びであったと思いま
す。十二日、中村孝三郎が、大
会特別講演として、信濃川沿岸
の遺跡について四十分にわたる
研究発表を行いました。

いと思っております。
このNKHの母体である「友の
会」もようやく発会致しました。
今後ともよろしくお願ひ致しま
す。又紙数の関係で内橋・水沢両
先生の原稿が二回に分割されたこ
とを、ここでおわび申上げます。

場山、銀山平等の昆虫五〇箱、
三〇〇〇点です。
それは会場の半分を埋め、珍
品、稀種の標本に目を見はり、
あらためて昆虫を、自然を意識
した人の多かつたことは、当館
として喜びに堪えないし、だい
した。

あとがき

編集する方で待ちくたびれたか
たちの「NKH」第二号がやっと
出来上りました。皆さんにも、御
執筆下さった先生方にも遅くなり
ましたこと深くおわび申上げま

昭和卅三年十二月二十日印刷
昭和卅三年十二月廿五日発行

編集及発行者

長岡市御山町九六の乙

長岡市立科学博物館友の会
勝俣長吉

印刷所

長岡市坂之上町

(会員領布)
北越印刷株式会社

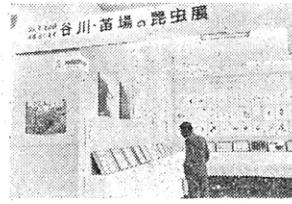
昆 虫 • 植 物 研究・採集用具
(呈カタログ)

志賀昆虫普及社特約代理店
長岡市立科学博物館・農業試験場御指定

渡辺理器商會

小千谷市上ノ山町・TEL 611

理科学器械
化学薬品
計量器全般



十二月十日友の会発会式、折悪
しく氷雨さえ降る寒さであつた
が、熱意ある方々三十
数名、中学生七名にお
集り戴いた。

発起人会に引き続き二
時から設立総会、経過
報告、規約審議、役員
選出と四時まで熱心な
話し合ひが続き、難産で
あつた友の会も、ここ
にめでたく誕生したのである。

○規約案(創刊号)改正の主要点
(来年度より)

○役員会長 大野市郎

副会長 松岡譲

川上 潜
松本友三郎

研究室よりのおしらせ

一、昆虫研究室

新潟市小林デパートに於ける
昆虫展について——会期九月十
六日～二十一日、新潟市教育委
員会、新潟市小・中学校理科研
究部主催の昆虫展

場山、銀山平等の昆虫五〇箱、
三〇〇〇点です。
それは会場の半分を埋め、珍
品、稀種の標本に目を見はり、
あらためて昆虫を、自然を意識
した人の多かつたことは、当館
として喜びに堪えないし、だい
した。

二、考古研究室

十月十一日から新潟市に於い
て人類、民族集会が開催され、當
館が大会見学コースの一つとな
り、大会前日には斯界の諸先生
方八十数名が来館されました。
展示替いした考古室で、又研究

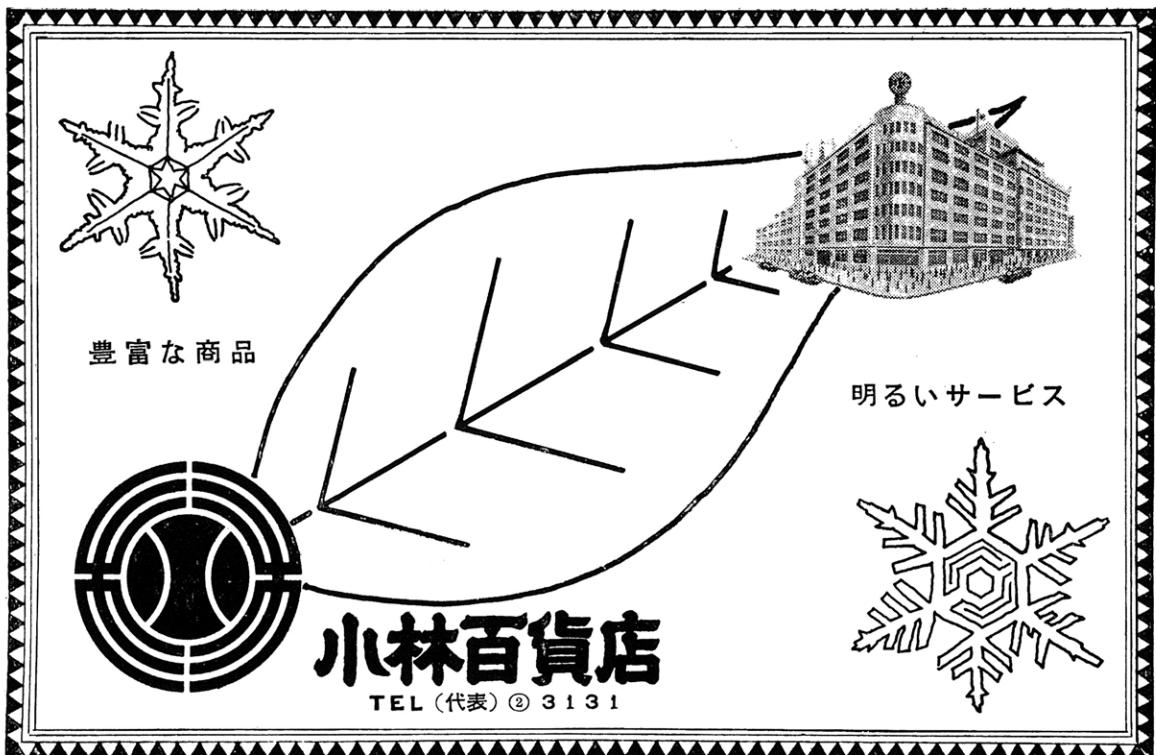
品した標
本は、谷
川岳、苗
本は、谷
本を贊助
出品。出

品した標
本は、谷
川岳、苗
本は、谷
本を贊助
出品。出

人で、當館
の昆虫標
本を贊助
出品。出

人で、當館
の昆虫標
本を贊助
出品。出

人で、當館
の昆虫標
本を贊助
出品。出



ALL WOOL ALL WOOL ALL WOOL

肌着からオーバーまで

皆様と直結する衣料品
あらゆる種類を
常に最低価格で
奉仕致しております

同じ品を同時に受け取れ
池津屋

長岡・TEL 910-2034

御注文は
池津屋洋裁部でどうぞ

ALL WOOL ALL WOOL ALL WOOL ALL WOOL ALL WOOL

